

平成25年11月27日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

地域医療対策特別委員会

委員長 佐藤 肇

地域医療対策特別委員会調査報告書

本委員会は、付託事件について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 医療再編等の経過について
(2) その他
- 2 調査の経過 11月27日に委員会を開催し、上記案件について調査を行った。
医療再編等の経過等について、執行部から説明を受け、質疑を行った。
その他で、今後の委員会活動について協議した。

地域医療対策特別委員会会議録

1 調査事件

(1) 医療再編等の経過について

(2) その他

2 日 時 平成25年11月27日 午前10時

3 場 所 広神庁舎 3階 301会議室

4 出席委員 大平恭児、遠藤徳一、佐藤 肇、高野甲子雄、森島守人、星野武男、
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 榎本健康課長、佐藤新病院対策室長

7 書 記 小幡議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (9:58)

佐藤委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから地域医療対策特別委員会を開会します。本日は、急でしたが定例会前でありますけれども委員会を開かせていただくことにいたしました。今までの新病院等の経過等につきまして執行部より説明いただき、進めさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。これより議事に入ります。

(1) 医療再編等の経過について

佐藤委員長 日程第1、医療再編等の経過についてを議題とします。執行部に説明を求めます。

榎本健康課長 前回9月24日に本特別委員会がありました。その後の経過について説明をさせていただきます。(資料「経過報告」「新病院建設工事行程表」により説明) 工事が若干遅れている理由は、7月に準備工事を行い、土留め等の仮設工事を行い、掘削まで進んでいるところですが、地盤に転石混じりではなくて粘土層のようなところが出てきましたので若干遅れております。その内容についてお話しします。実施設計においては、ボーリング調査で得られた土質や土の締まり具合を判断材料として地盤の支持力を決めて設計に反映させてあります。ただ、ボーリング調査は3カ所行いましたが、ボーリング調査だ

けでは実際の地盤の支持力はわかりませんので、掘削工事が終わった段階で実際の地盤の支持力試験を行い、実際の地盤が設計地盤支持力を超える支持力を持っていることを確認して躯体の施工を始める予定にしておりました。こうした予定の上で設計を組んでおります。試験の結果、必要な支持力がなかった場合は、当然地盤改良を行うということになります。今回、一部の範囲で必要な支持力が出ませんでしたので、原因を探るために試掘をして、粘土層がどれくらいの範囲にあるか現地で確認しました。粘土層の下には支持地盤となる玉石混じりの砂礫層が確認できましたので、その粘土層部分を取り除いて碎石と置き換える工事を行いたいと思っております。何カ所か試掘をしましたが粘土層の深さは不均一で、深いところで1.5メートルくらいありました。碎石の置き換え工事を行う範囲は全体面積の約半分の1,500平米くらいに及びますが、工事を進めたいと考えております。なお、既に躯体の工事が終わっているところについては、支持力試験を行ってその支持力が得られると判断し、躯体の打設を行っております。粘土層の確認、改めて掘削した地盤の試験の確認作業があり、少し遅れているということでもあります。その遅れについては、当初3月に作業を開始する予定でありましたが、それをちょっと早めて工事を行い、遅れを取り戻したいと考えております。

佐藤委員長　これから質疑を行います。最初に、経過について質疑はありませんか。

大平委員　就職説明会が10月10日にありましたが、何名くらいの方が来られましたか。

榎本健康課長　50名ほど来られました。

大平委員　年代はどのようになっているかわかりましたら教えていただきたいと思えます。

榎本健康課長　年代ごとに10名くらいずつでした。

大平委員　20代、30代、40代という10代ずつで10名くらいということですか。

榎本健康課長　ざっくりしたところでそのように思っております。

星野委員　26年度の採用試験を9月下旬に行うという予定になっていたと思うんですが、これと就職説明会との関係はどんな関係でしょうか。

榎本健康課長　就職説明会と直接関係はありませんが、募集をかけて応募がありましたので、採用試験を行いレントゲン技師を1名採用しました。

星野委員　ほかには医師とか看護師、薬剤師、助産師等についてはどうだったのでしょうか。

榎本健康課長　市報に載せましたが11月末を期限として募集をかけているものもありますので、12月に試験をしたいと思っております。

高野委員　50名ほど説明会に来たということですが、ざっくり見て開院時に充足する見込みはどうか。

榎本健康課長　就職説明会に来られた方々を見て開院時にというのは非常に厳しい質問かと思いますが、意外と若い方が多かったということと、堀之内病院や小出病院に勤務している人以外の方が多く、市外からも来てくれたという感じがあります。

高野委員　というのも、堀之内病院があるわけですがけれども、今度は新病院と同じ形態になるかと思うんですが、実際従事されている方々の意向があまり芳しくない聞いています。その辺が心配ですので、説明会の状況が気になります。医師、看護師も含めて見通しというか、手立てが要るのか要らないのかも含めてこれから考えなければならない部分、感想でもいいんですが、少しあればお聞かせいただきたいんですが。

佐藤委員長　しばらくの間、休憩します。

休 憩 (10 : 10)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (10 : 11)

佐藤委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

榎本健康課長 堀之内病院の職員については、新しくできる小出病院も含めて医療公社の中で中核的に頑張っていたいただきたいと思います。地域にある医療資源については有効に生かしていかなければならないと考えておりますので、気持ちよく移行していきたいと考えております。今までも堀之内病院には、不定期ではありますが説明に入っておりますし、今年度も院長予定者から職員に向けてメッセージを発信していただいております。その上で今、総務課、病院局と当課一緒になって移行に向けて、処遇等のこともありますので折衝しているところであります。

大平委員 就職説明会は開院までに向けてどのくらい予定されていますか。

榎本健康課長 何回とは明確にお答えできませんが、今後もやっていきたいと思っております。

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし) なければ、次に行程表について質疑はありませんか。

遠藤委員 工事が遅れています。次の策で取り戻せるということなんでよろしいんですけれども、概算ですけれどもそれにかかる費用といいますか、変更はどのような形で出てくるのかお聞かせください。

榎本健康課長 免震部分から立ち上がりますが、予定している掘削断面まで掘削が終わりました。そして支持地盤を一つ一つ確認しながら躯体を立ち上げていくところです。その入れ替え部分については、層を確認しながら掘削して粘土層の部分を搬出しており、碎石に置き換えるということで、今現在はざっくりしたところで碎石2,000立米くらいかなという感じです。一様に粘土層があるわけではありませんし、掘削も終わっていないので概算ということでご理解いただきたいと思います。

遠藤委員 金額についても今後調査や経過の中であがってくるということでもよろしいでしょうか。

榎本健康課長 確認してからはっきりさせていきます。

佐藤委員長 委員長を交代します。

(委員長交代)

森島副委員長 代わって委員長を務めます。

佐藤委員 1点お聞きしたいと思います。まず、当初予定どおりといいますか、8月に起工式をされて、それから杭打ち作業、掘削等ずっと進められてきたわけなんです、大現場が動き始めて3カ月余りということだろうと思うんです。この間、準備作業から含めてなんですけど少しずつ当初予定より遅れております。ここに来て支持地盤が出ないということもあって半分くらい耐圧板の打設が完了し、残りが掘削している状況ということですが、

年内にどこまではきちんとやっておきたいといえますか、冬期の休工を挟むわけなんです
が、その考え方を説明していただきたいと思います。

榎本健康課長 この行程表のとおりです。捨てコン打設については年内に完了します。免震
ピット工事分で遅れているのは3月に行くということですので、そこで遅れを取り戻した
いと考えています。

佐藤委員 当初の予定では4月からの上部の躯体工事は予定どおりの工期ということなの
で、その分は春先に早めに始めるということになっております。当然雪が降るわけですの
で除雪等の問題もあるわけなんです、その辺を絡めてみてこの工程で十分対応できるの
か、その辺のところは現場サイドとしてどのような見込みだったのかを聞きたいと思いま
す。

榎本健康課長 年内には置き換えの工事を完了したいと思っています。変更の行程表につい
ては、現場の監理に入っているコンサル、施工業者との話を踏まえ作成したものですので、
この行程表どおり3月いっぱいやりたいと考えています。除雪費については当初から考
えていましたので、それを前倒しして進めていきたいということです。

森島副委員長 委員長を交代します。

(委員長交代)

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし)なければ、質疑を終結します。本件については、
引き続き調査をしていくこととします。

(2) その他

佐藤委員長 日程第2、その他を議題とします。皆さんから何かありませんか。

遠藤委員 委員長の意向として、今後の委員会はどういった経過をお聞きするのは当然です
が、調査や視察、懇談会などをするかどうか、委員長のお考えをお聞きします。

佐藤委員長 医療再編の関係と病院の事業の部分、今のところはこの2つと考えています。
本日説明いただいたように、新病院の工事については27年の開院に向けて進められており、
もう一つは医療公社の話、それから指定管理にしていく問題、それと地域医療をこれから
どうやって再編をスムーズに進めるかというところが重要になってくると考えています。
現地視察については、実際に動いている病院での工事ですので、ある程度進捗した段階で
1回検証しなければならないと考えております。もう1点は、公社の採用の進捗状況につ
いて、現在の職員との話を進めながらということでデリケートな部分もあります。です
ので、課長から随時報告をいただきながら進めてまいりたいと考えております。また、医療
再編のこと、それからことしもこれから医療ビジネス等のシンポジウムをこの地域で開催
するわけですが、市民にいかにわかりやすくその辺を説明し、これからの地域医療に向か
って行っていただけるかということは、随時勉強しながら進めてまいりたいと思ってお
ります。指定管理についても今はまだ足踏みしている状態ですが、また検討をお願いしたい
と考えております。

遠藤委員 せっかく設置されております調査権を持つ特別委員会であります。市民が不安に
思っていること、あるいは医師不足、医療のネットワーク化などいろんな課題があがって
いますので、報告を待つばかりではなく率先的に調査に進み出る、あるいは上の機関との

話し合いを持つとか、先ほど人事のことについては執行部も真剣にやっておられるということなので、委員長がおっしゃるようにデリケートな部分をこの委員会が出て行って話をするわけにはならないと思いますけれども、医療全般に関して布施先生があちこちでお話をされているようなことも含めて、この委員会でも話を聞くとか、同じような歩調で委員会を進められるように何とかご努力いただきたいと思います。

佐藤委員長　そのように考えて進めていきたいと思います。ほかにありませんか。

大平委員　今の遠藤委員の話の延長で、市内の状況だけではなくて南魚とか十日町とか同じ医療圏ですので、そういう調査も頭の中に入れていただきたいという意見です。

佐藤委員　提言いただきましたので、今後考えていきたいと思います。しばらくの間、休憩します。

休　憩（10：29）

休憩中に懇談的に意見交換

再　開（10：36）

佐藤委員長　休憩前に引き続き会議を再開します。ほかにありませんか。（なし）なければ、その他を終わります。本日の会議録の調製については、委員長に一任願いたいと思います。本日の地域医療対策特別委員会はこれで閉会します。

閉　会（10：37）